

自然環境保全基礎調査

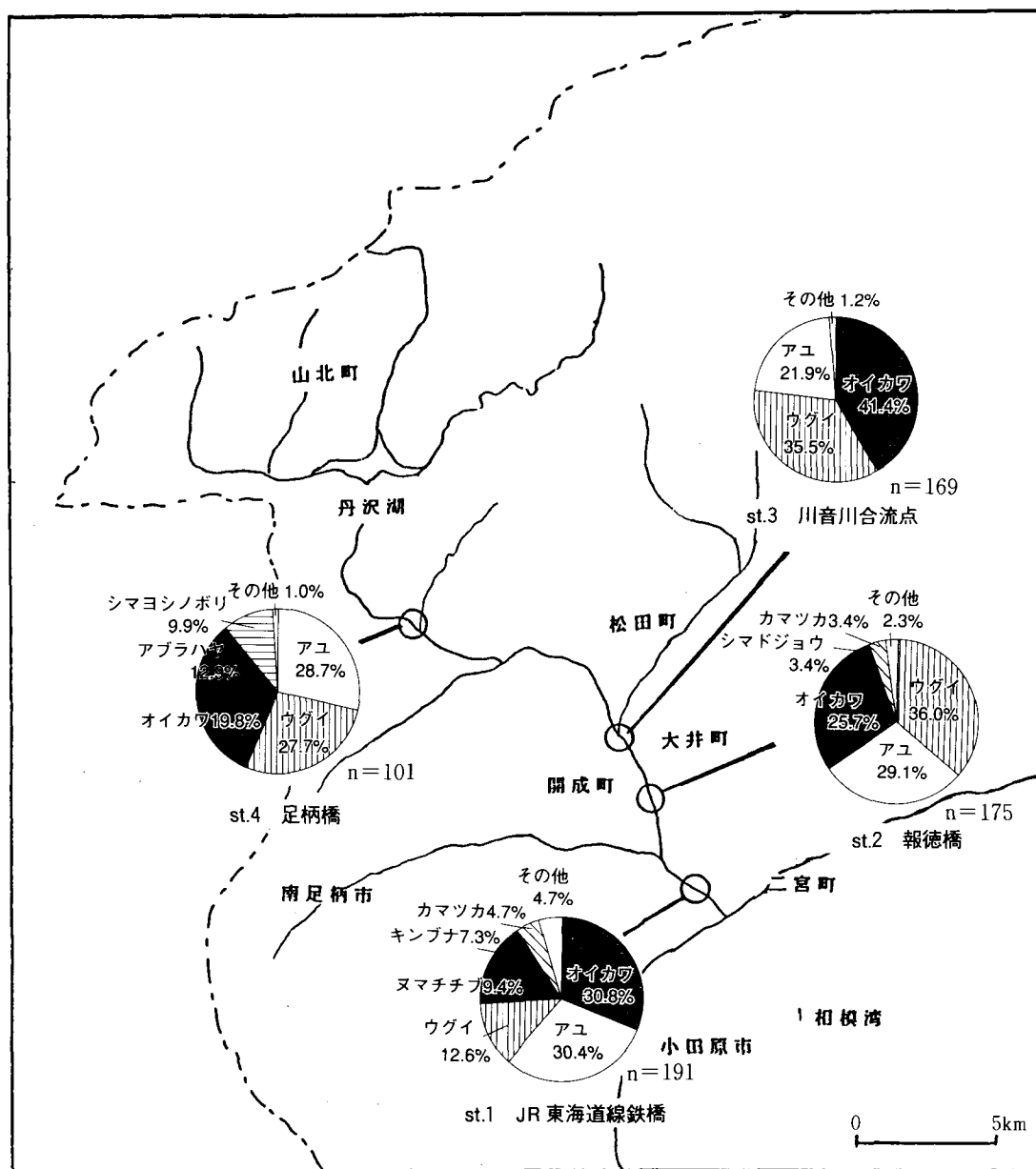
酒匂川・金目川の魚類調査について(要旨)

勝呂 尚之・中田 尚宏

平成4年度、神奈川県では環境庁の委託を受け、酒匂川と金目川の自然環境保全基礎調査を行った。当场では、魚類調査等その一部を、酒匂川漁業協同組合の協力を得

て実施したので、その要旨について報告する。

なお、詳細は第3回自然環境保全基礎調査報告書に掲載予定である。



第1図 酒匂川における漁獲調査地点と地点別魚類相

I 酒匂川

過去の資料と漁協等への聞き取りによる調査、および投網を中心とした漁獲試験を4地点において行った(1992年7月17日, 23日, 9月2日)。

漁獲試験では、アユ、カマツカ、タモロコ、ウグイ、アブラハヤ、オイカワ、ギンブナ、コイ、シマドジョウ、スズキ、ボラ、ウキゴリ、シマヨシノボリ、ヌマチチブの6科14種の生息を確認し(第1図)、聞き取りによるウナギ、ヤマメ、ニジマス、ナマズの4種を含めると、9科18種を確認した。

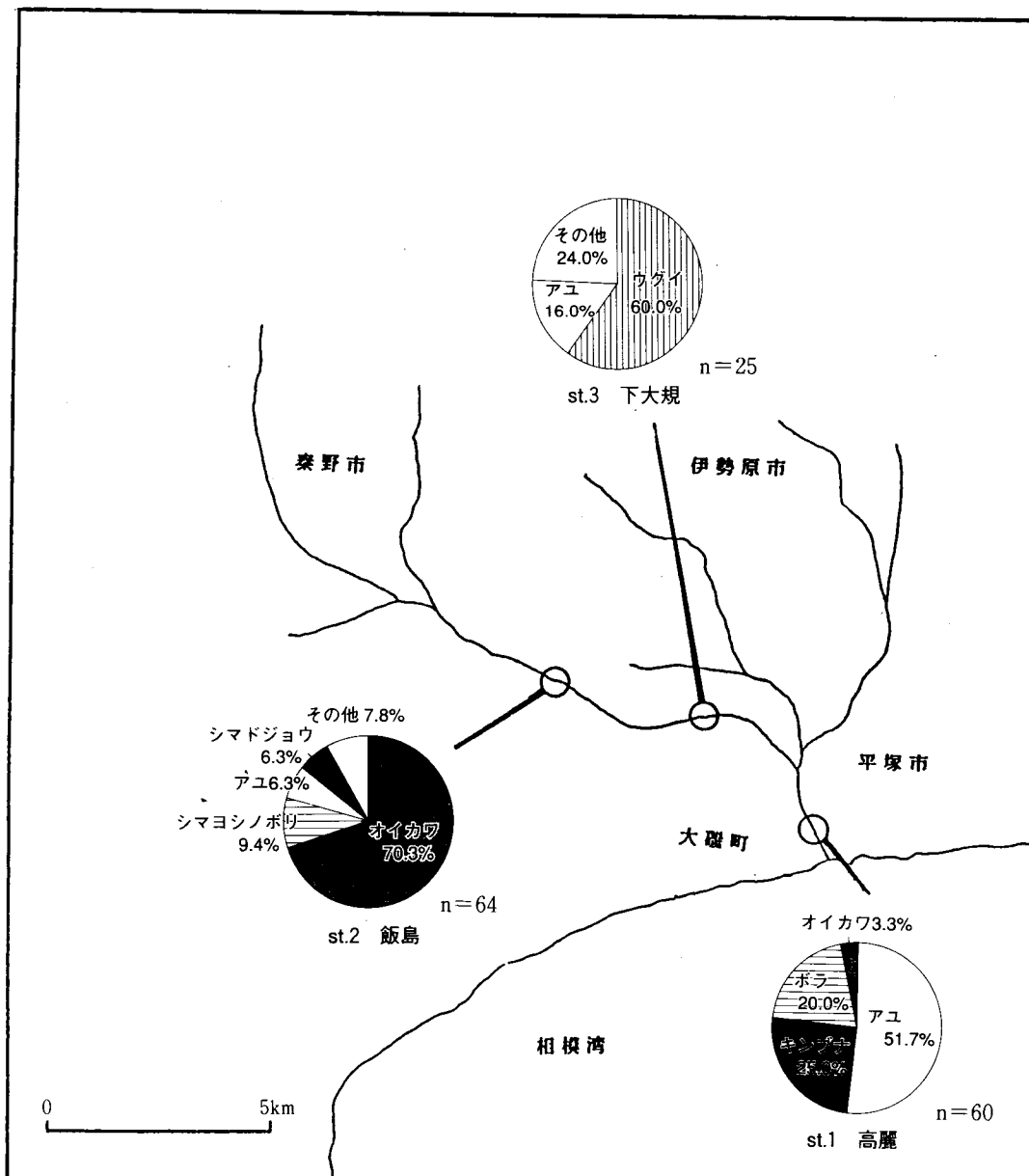
過去の資料によると、この他にキンブナ、ドジョウ、カジカ、アユカケ、マハゼ、ボウズハゼの記録がある。

II 金目川

過去の資料による調査と、投網を中心とした漁獲試験を3地点において行った(1992年7月21日, 8月19日)。

漁獲試験では、アユ、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、コイ、ギンブナ、キンギョ、シマドジョウ、ボラ、シマヨシノボリ、ウキゴリ、マハゼの5科12種の生息を確認した(第2図)。

過去の資料によると、この他にウナギ、ワカサギ、タモロコ、モツゴ、ドジョウ、ナマズ、コトヒキ、ギンガメアジ、オオヨシノボリ、ヌマチチブ、ヒメハゼ、クロメジナの記録がある。



第2図 金目川における漁獲調査地点と地点別魚類相